

ルールづくり



### 1

## 法教育における「ルールづくり」の学習の必要性

「ルールづくり」の単元は、「法は共生のための相互尊重のルールであり、国民の生活をより豊かにするために存在するものであるということ、実感をもって認識させるために、ルールをどのようにして作るのか、ルールに基づいてどのように紛争を解決していくのかについて主体的に学習させる」(報告書第3の1(2)ア)ものとして位置付けられている。具体的な学習場面では、ルールづくりを通じて、上述の内容を認識させるとともに、法が多様な人々が共生するための相互尊重のルールであり、守ることの大切さを理解させることを目指している。

本教材の特徴は、生徒に身近に感じられる紛争状況を設定し、この紛争状況を解決するための解決策(ルール)づくりを体験的に行わせる点にある。

解決策(ルール)を体験的に作成する過程においては、生徒がそれぞれ合理的な意見を持ち、生徒間の討論を経た合意形成に基づいて紛争を解決することが必要となるが、こうした体験的な作業は合意形成や建設的な批判の能力の育成にもつながると考える。

また、生徒の身近な紛争状況を設定することにより、作成したルールもまた身近なものであると意識付けることが可能となるし、作成体験を通じて、自分たちで合意したルールを守るという規範意識の涵養、状況の変化に応じてルールを作り変えるといった、主体的なルールを作成し利用するという意識を育む教育にもつながると考える。

### 2

## 「ルールづくり」に関する学習指導要領や教科書の記述

### ①学習指導要領の内容

「ルールづくり」について、中学校学習指導要領(社会科[公民的分野])では、大項目「(1)私たちと現代社会」の中項目「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」に位置付けられており、「人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる」際に、「個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる」こととされている。中項目イにおいては、「人間は社会集団を形成し、その一員として所属する集団や所属員にかかわる問題(トラブル)の解決について、どのような決定の仕方が望ましいのか、決定したことを、『きまり』として守ることにどのよ

うな意味があるのかを考えさせること」とされており、「例えば、学校や地域の自治会において何か問題（トラブル）が生じ、その解決のために何をすべきかを決定する際、全員が参加して話し合って決めたり、多数決で決めたり、あるいは代表者が集まって決めたりすることが考えられる」（文部科学省「中学校学習指導要領解説―社会編―」、以下「解説」という。）との記述も見られる。また、解説には、「『きまり』や『取り決め』は、それを守ることによって、だれの何を保障するのかを考えさせることが必要である。その際、『契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる』としているのは、社会生活で人々がきまりを作ったり取り決めを行ったりしている活動を改めて『契約』という概念でとらえ直し、それを守ることによってそれぞれの権利や利益が保障されること、また、互いが納得して受け入れられたものである限りその結果について責任が伴うことに気付かせることを意味している」との記述も見られる。

また、解説には、「『社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせる』ことを通して、『現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させることが必要である』」との記述がある。解説では、「対立と合意」については、「『対立』が生じた場合、多様な考え方を持つ人が社会集団の中で共に成り立ちうるように、また、互いの利益が得られるよう、何らかの決定を行い、『合意』に至る努力がなされていることについて理解させる」としている。また、「効率と公正」については、「合意の妥当性」を検討する際の「代表的な判断の基準」と整理されており、「公正」については、「手続きの公正さ」「機会の公正さ」「結果の公正さ」などが例示されている。

なお、ここでは、社会科における「ルールづくり」学習に絞り、まとめた。中学校段階では、他に、特別活動における「ルールづくり」学習が想定される。本単元と特別活動における「ルールづくり」の関係は後述する。

## ②教科書の記述

教科書における「ルールづくり」学習については、前述した学習指導要領の内容を踏まえ、学校で発生する問題を「効率や公正」の観点から評価し、解決策を作り出そうとする「ルールづくり」の授業や、自治会で発生する問題に対処するため、自治会の規約を見直す際に、ルールを評価する視点（目的の合理性と手段の相当性、「効率や公正」の視点など）を用いて、自治会規約を見直し、きまりが変更される可能性があることを指摘し、自分たちで作ったきまりだから、自分たちが守っていく責任があることに言及している記述も見られる。

大項目 「(1) 私たちと現代社会」

中項目 「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」

### 1 単元の構成



小単元① 「ごみ収集に関するルールを作ろう」(2時間：第1プラン)の構成

第1時 「ごみ収集に関するルールを作ろう」

第2時 「ごみ収集に関する町内会規約を作ろう」

小単元② 「マンションのルールを作ろう」(3時間：第2プラン)の構成

第1時 「ルールの機能と望ましいルールの要件は何か」

第2時 「マンションの紛争を解決するルールを作ろう」

第3時 「ルールについて評価し討論しよう」

※第1プラン又は第2プランの内容を選択的に利用することを想定している。

### 2 単元の目標



- ①ルールについての関心を高め、社会生活におけるルールの意義について考える態度を養う。
- ②ルール作成による紛争解決を通じて、社会生活における取決めの重要性、集団内の個人の自由を保障するためのルールの必要性、それを守る意義について考えさせる。
- ③事例の望ましい解決策(ルール)を作成し表現させる。
- ④作成したルールについて、合理的に考察し評価することができる。

### 3 単元の位置付け



「ルールづくり」の単元は、学習指導要領(社会科【公民的分野】)の大項目「(1) 私たちと現代社会」の中項目「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」で実施する。

学習は2～3時間で編成しており、第1プランと第2プランの2種類のプランを作成した。

第1プランは、「ごみ収集に関するルールを作ろう」と題して2時間で構成し、第2プランは、「マンションのルールを作ろう」と題して3時間で構成した。

## 4 単元の指導計画



### ① 「ごみ収集に関するルールを作ろう」の概要

#### ア 第1時 「ごみ収集に関するルールを作ろう」

第1時の授業では、「ごみ収集に関するルールを作ろう」というテーマのもと、ルールのもつ機能（秩序維持機能・紛争解決機能）について学んだ上で、ルール作成時の視点を踏まえ、町内会で起こった、ごみ収集場所をめぐる紛争の解決策を考える。具体的には、実際に、ごみ出しの経験をした後、架空の町内会を設定して、利害が対立するいくつかの立場に立って、ごみ収集場所をどこにするか考える学習を行う。

実際の学習の流れは次のようになる。

- ①ごみ出しについて自分の経験を発表する。
- ②ルールが何のためにあるかを考える。
- ③よいルールの条件を考える。
- ④ごみ収集場所をどこにするかをいくつかの立場に分かれて考える。

#### イ 第2時 「ごみ収集に関する町内会規約を作ろう」

第2時の授業では、「ごみ収集に関する町内会規約を作ろう」というテーマのもと、第1時の立場をばらし、編成したグループごとに、それぞれの立場の意見を踏まえながら、話し合い活動を行って望ましい町内会規約を検討する学習を行う。

実際の学習の流れは次のようになる。

- ①話し合い活動を行い、グループとしての規約案を検討する。
- ②グループごとに、作成した町内会規約を発表する。
- ③グループの町内会規約が望ましいルールかどうか評価する。
- ④ルールの機能、望ましいルールの要件を確認する。

### ② 「マンションのルールを作ろう」の概要

#### ア 第1時 「ルールの機能と望ましいルールの要件は何か」

第1時の授業では、「ルールの機能と望ましいルールの要件は何か」というテーマのもと、日常生活に見られるルールの中で受け入れることのできるルールとは、どのようなものかを考える。具体的には、生徒が日常生活の中で出会うトラブルを解決するルールを想定し、その適否を考えることを通して、ルールの機能と望ましいルールの要件を考える学習を行う。

実際の学習の流れは次のようになる。

- ①ルールは何のためにあるか考える。
- ②ルールの具体例を検討する。
- ③それぞれのルールの問題点を考える。
- ④ルールの問題点をどのように改善すればよいか考える。
- ⑤ルールが適正となる要件を整理する。

#### イ 第2時 「マンションの紛争を解決するルールを作ろう」

第2時の授業では、「マンションの紛争を解決するルールを作ろう」というテーマのもと、架空のマンション住人間の紛争を設定し、解決のためのルールを考える。具体的には、マンションでのペットの飼育について紛争が発生していると想定し、その紛争を解決するルールを考える学習を行う。

実際の学習の流れは次のようになる。

- ①マンションでのペットの飼育について住人間に紛争が生じていることを確認する。
- ②ペットを飼育している住人や隣接する部屋に居住する住人の状況を確認する。
- ③グループに分かれて解決策を考える。
- ④各グループで考えた解決策を生徒各自で評価する。
- ⑤各グループで考えた解決策について話し合う。

#### ウ 第3時 「ルールについて評価し討論しよう」

第3時の授業では、「ルールについて評価し討論しよう」というテーマのもと、第2時の授業で決定された解決策が適正かどうかを評価する。具体的には、第1時で学習した、「ルールが適正となる要件」をもとに解決策を評価する学習を行う。

実際の学習の流れは次のようになる。

- ①第1時の授業で学習した、「ルールが適正となる要件」を確認する。
- ②グループで決定した解決策を生徒各自が受け入れることができるか検討する。
- ③新たな問題状況を設定し、現在の解決策で問題が解決されない場合の対応を考える。

## 5 特別活動と本教材を活用した授業との関連付け



中学校学習指導要領（特別活動）第5章の第2の〔学級活動〕の2「内容」及びその解説にも、ルールづくりに関連した指導内容が示されている。「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」を実施するにあたっては、生徒自身が集団の一員であるという自覚と責任感をもち、その中で生まれてくる様々な問題を話し合って解決したり、役割を分担し合って処理したりすることが必要であり、そのための組織や係が生徒会活動とも連携を図りながら、自発的、自治的な活動を進めていくことが大切とされている。また、「イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理」、「ウ 学校における多様な集団の生活の向上」を実施するにあたって、その指導の工夫の一つとして、「ルール」に関する題材の設定が例示されている。

本教材を活用して実施された法教育の授業と、上記した特別活動の実施とを関連させることで、「実社会でのルールづくり」とつながることを生徒に実感させることも期待される。

# ①ごみ収集に関するルールを作ろう

第1プラン 1時間

第1時

## ごみ収集に関するルールを作ろう



	学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
事前準備		生徒は、1週間程度ごみ出しを体験し、感想を簡単なレポートとして提出する(1枚程度)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ワークシート1</li> </ul>
導入		<p><b>みんなが提出してくれた、「ごみ出し」レポートを発表しよう。</b></p> <p>指名された何名かの生徒が、ごみ出しの感想レポートを発表し、ごみ問題の切実さを確認する。</p> <p><b>これから、「ルールをみんなで作ってみよう」という学習をします。この学習に関わる次のことに答えてみよう。</b></p> <p>◆ ワークシート1に記載する。→「ルールは何のためにあるか」</p> <p>①秩序を守らないと安全に暮らしていけないから(秩序維持機能)</p> <p>②紛争を解決しなければ社会が安定しないから(紛争解決機能)</p> <p>といったルールの機能について説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ルールを作る上での視点についても触れ、評価の視点となることを伝える。 手段の相当性=目的に対して手段が適切か。</li> <li>• 明確性=いく通りにも解釈されることはないか。</li> <li>• 平等性=立場を替えても受け入れられるか。</li> <li>• 手続の公平性=みんなが参加しているか。</li> </ul>
展開	日常生活における紛争	<p><b>ある町内会で、ごみ収集場所についての問題が生じている。まず、問題の状況を確認しよう。</b></p> <p>◆ ワークシート2-1の「ごみ収集場所をどこに？」を範読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ◆ ワークシート2-2の「付近地図」を黒板等に掲示する。</li> </ul>





	学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
展開		<p>◆ ワークシート2-3の「各自の主張」を生徒が音読し、ごみ収集場所についての、それぞれの住民の立場を確認する。</p>	
まとめ	<p>紛争解決のためのルールづくり</p>	<p><b>立場に応じて班分けをし、それぞれの班で解決策を考えてみよう。</b></p> <p>◆ ワークシート3に記載する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料1のような主張が考えられる。議論が拡散しないようごみ収集場所は、川上・山村・太田宅前の3か所に限定する。班ごとに役割演技に徹しさせ、役割分担をさせる。自分たちの立場を理解し、その立場になりきってこの問題の解決策を考えさせ、他者を説得し得る案を提示させる。罰金や罰則を設けることのみ論点を着目させない。各立場を明確にさせるため、表示板を用意するとよい。</li> </ul>

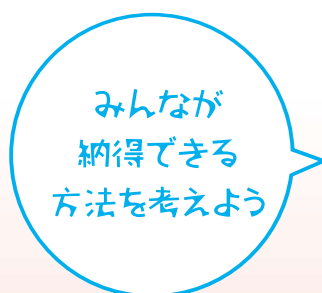
第2時

## ごみ収集に関する町内会規約を作ろう



学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導入・展開  ルールづくりの合意形成  ルールを作るに当たっての条件 ①ルール 必要性 ②ルールづくりの合意形成の方法 ③ルール評価の視点	<p><b>それぞれの立場で検討した解決策(町内会規約案)を発表してもらい, どのような町内会規約を作ったらよいかグループで議論しよう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの立場の意見を発表で確認させ, ◆ワークシート4を活用し, 問題点, 対立点を明確にしながらグループで話し合いをさせる。町内地図を拡大するなどして, 興味や関心が持続できるようにする。</li> </ul>
	<p>第1時のそれぞれの立場の班から発表させる。</p>	
	<p><b>それぞれの立場の解決策を踏まえ, グループで望ましい解決策(町内会規約案)を話し合ってみよう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会規約の検討に当たっては ◆資料2のような論点が考えられる。</li> </ul>
	<p>第1時の立場をばらして編成したグループで話し合いを行う。 ◆ワークシート4に記載する。</p>	
<p><b>グループで話し合った結果を発表しよう。また, グループで検討した解決策(町内会規約案)が, 本当に望ましいルールかどうか評価してみよう。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会規約案の論点が拡散(ごみ収集場所を地下に設ける, 2階建てにする等というように)するとき, 論点を整理させる。</li> </ul>	
<p>ルール評価の視点に基づき評価させる。</p>		
<p>①手段の相当性=目的を実現するために適切な手段だろうか。 ②明確性=そのルールはいろいろな解釈ができないか。 ③平等性(公正さ)=立場が変わってもその決定は受け入れられるか。 ④手続きの公平性=ルール作りにみんなが参加し, ルールを作る過程に問題はないだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①手段の相当性は, 目的を達成する手段として個人の自由を必要以上に制限していないかなどについて考えさせる。</li> </ul>	

#10	学習内容	学習活動（教師の指示・発問と生徒の予想される答え）	指導上の留意点
		<p>これまで、「ルールをみんなで作ってみよう」について学習し、この学習の中で様々なことを学んできたが、その上で、もう一度、みんなの考えを聞かせてほしい。</p> <p>◆ ワークシート5に記載する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを作るに当たっての条件を踏まえて考えをまとめさせる。</li> </ul>



## 「ルールをみんなで作ってみよう」事前質問

これから、「ルールをみんなで作ってみよう」について学習します。この学習に関わる次のことに答えてください。

1 周囲の人たちと考えや意見がくい違ったら、あなたはどのような行動をとりますか。あなたがとるであろう行動に最も近いものを選んでください。

- **ア** — 自分の考えに基づいて行動する。
- **イ** — 相手の考えに合わせて行動する。
- **ウ** — お互い納得するまで話し合ってから行動する。
- **エ** — その他 ( )

2 様々な人たちがいる社会には、必ずルールがあります。あなたは、ルールは何のためにあると考えますか。自分の考えに近いものを2つ選んでください。

- **ア** — いろいろな人たちの異なる考えや意見をまとめるため。
- **イ** — いろいろな人たちが対等に生活できるようにするため。
- **ウ** — 弱い立場の人たちを守るため。
- **エ** — 犯罪を防いだり、社会の秩序を守るため。
- **オ** — その他 ( )

3 あなたが考える望ましいルールの決め方を書いてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## 町内会規約を作ってみよう!

### 1 ゴみ収集場所をどこに？

商店街にある空き地を山本不動産が買い取って5軒程度の建売住宅を売り出しました。うち何軒かはすでに新しい住人が入居しています。

この商店街のゴミ収集場所は、川上さんという人の家の前にありますが、ある日、新しく引っ越してきた山村さんが、燃えないゴミの日に間違えて生ゴミを出してしまいました。これをきっかけに、川上さんは、「これまで長い間、自分の家の前にゴミ収集場所があるのを我慢してきたが、町内の住人が増えて、ゴミの量も増えている。また、商店街を通る人たちが、ゴミを勝手に捨てていって、ゴミ収集場所は散らかっている。生ゴミの日は、猫が入ってきて散らかし、悪臭がすごい。この機会にゴミ収集場所を変えてほしい。」と言い始めました。その両隣や向かいの人も川上さんに賛成しています。

他方、古くからこの町内に住んでいる田中さんは、「住人が増えて、ゴミの量が増えるからといって、もともと住んでいる私たちが不利益を受けるのは困る。もし収集場所を変えるなら新しい建売住宅地の中にしてもらいたい。」と言っています。古くからの住人はだいたい田中さんと同じ意見のようです。

しかし、山村さんなど新しく引っ越してきた人たちは、「ゴミの量が増えるといっても、たいした量ではなく、ゴミ収集場所を変えるほどのことはない。」と言っています。山本不動産も、「まだ売れていない建売住宅が売れ残ると困るので、ゴミ収集場所が建売住宅地の中に移されるのは困る」と言っています。

商店街の太田さんも、「うちの前にゴミ収集場所ができたのでは商売に影響が出るので困る。」と言っています。

町内会長の佐藤さんと町内会の役員さんたちは、この問題を解決するために、町内のゴミ収集場所に関する町内会規約を作らなければならなくなりました。

現在、ゴミの収集は、この町内では、毎週火・金曜日の2回燃えるゴミの収集が行われています。燃えないゴミの収集は、毎週木曜日の1回だけです。また、ゴミ収集車の通行上、ゴミ収集場所に指定できる場所は、川上さんの家の前、山村さんの家の前、太田さんの家の前の3か所だけです。





## 町内会規約を作ってみよう!

### 3 各自の主張

ゴミの量が増えるのだし、これまで我慢してきたのだから、別の場所にごみ収集場所を変えるべきである。ごみ出しのルールを守らない人もいる。



A

川上さん(ごみ収集場所周辺に住む住人)の立場

住人が増えてゴミの量が増えるのは、新しい住人が来るからである。新しい住人の住んでいる周辺にごみ収集場所を作るべきである。ごみ出しのルールを守らない人もいる。



B

田中さん(古くからの住人)の立場

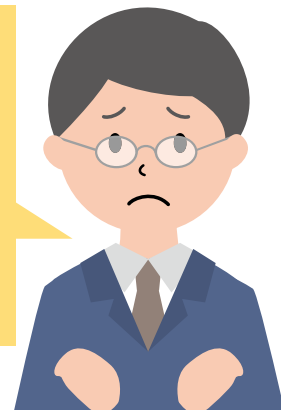
ゴミの量自体そんなに増えるわけではないのだから、ごみ収集場所の場所を変えるまでもない。ごみ出しのルールをみんなでも守れば問題はない。



C

山村さん(新しく引っ越してきた住人)の立場

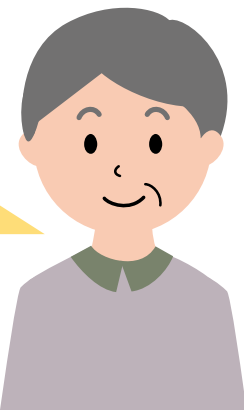
新しい建売住宅地の中に、ごみ収集場所を作ってほしくない。ごみ出しのルールを徹底させるようにする。



D

山本不動産の立場

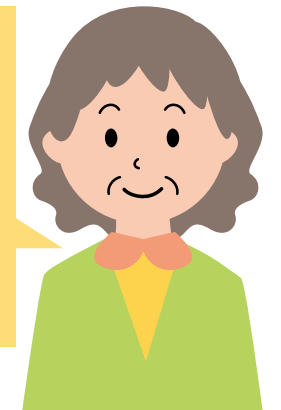
古くからの住人も、今度来た新しい住人にも、皆さんにとってよいような町内会規約を作してほしい。



E

佐藤さん(町内会長)の立場

ごみ収集場所は、これまでどおり川上さんの家の前でよい。ごみ出しルールの徹底を図ることとする。



F

太田さん(商店街の店主の一人)の立場

## 町内会規約を作ってみよう!

自分の班の立場は

自分で考えた発言内容

① ゴミ収集場所はどこに

② ゴミ出しのルール

1

2

3

4

③ ①と②の理由



## 想定される各立場の回答事例

### A 川上さん(ゴミ収集場所周辺に住む住人)の立場

ごみの量が増えるのだし、これまで我慢してきたのだから、別の場所にごみ収集場所を変えるべきである。ごみ出しのルールを守らない人もいる。

主張



規約

ごみ収集場所は、新しくできた建売住宅地の一角に作るべきであり、町内会員は期日とルールを守ってごみを出すようにすべきである。

理由

町内におけるごみ収集場所の不利益は公平に負担するべきである。町内の一人、もしくは一地域のみが負担するのは不公平である。これまで長い間、私の家の前をごみ収集場所として提供してきたのだから、今度は新しくできた建売住宅地の一角に作るべきであり、これで公平になる。

### B 田中さん(古くからの住人)の立場

住人が増えてごみの量が増えるのは新しい住人が来るからである。新しい住人の住んでいる周辺にごみ収集場所を作るべきである。ごみ出しのルールを守らない人もいる。

主張



規約

ごみ収集場所は、新しくできた建売住宅地の一角に作るべきであり、町内会員は期日とルールを守ってごみを出すようにすべきである。

理由

町内におけるごみ収集場所の不利益は公平に負担するべきである。町内の一人、もしくは一地域のみが負担するのは不公平である。これまで長い間、川上さんの家の前をごみ収集場所としてきたのだから、これからは新しくできた建売住宅地の一角に作るべきであり、これで公平になる。

### C 山村さん(新しく引っ越してきた住人)の立場

ごみの量自体そんなに増えるわけではないのだから、ごみ収集場所を変えるまでもない。ごみ出しのルールをみんなで守れば問題はない。

主張



規約

ごみ収集場所は、これまでどおり川上さんの家の前とするべきであり、町内会員は期日とルールを守ってごみを出すようにすべきである。ごみ出しのルールの確認をもう一度行う。その上で、もし、ルールを守らない町内会員には、一週間、ごみ収集場所付近の清掃を担当してもらうこととする。

理由

今回、私の不注意で違う日にごみを出してしまい迷惑をかけたが、これまで川上さんの家の前のごみ収集場所で問題がなかったのだから、これからもごみ収集場所は川上さんの家の前にしてもらいたい。ごみ出しの期日とルールを守れば問題はない。

## 想定される各立場の回答事例

### D 山本不動産の立場

新しい建売住宅の中に、ゴミ収集場所を作ってほしくない。ゴミ出しのルールを徹底させるようにする。

主張



規約

ゴミ収集場所は、これまでどおり川上さんの家の前とするべきであり、町内会員は期日とルールを守ってゴミを出すようにすべきである。そのため、ゴミ出しルールの確認を回覧板で行うこととする。もし、それでもルールを守らない町内会員には、一週間、ゴミ収集場所の清掃を担当してもらうこととする。

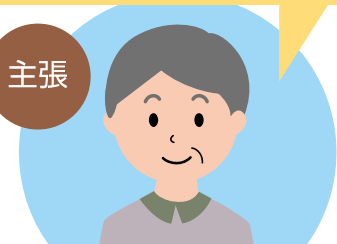
理由

まだ売れていない建売住宅が売れ残ると困るので、ゴミ収集場所が、建売住宅地の中に移されるのは困る。これまで川上さんの家のごみ収集場所で問題がなかったのだから、これからもゴミ収集場所は川上さんの家の前にしてもらいたい。ゴミ出しの期日とルールを守れば問題はない。

### E 佐藤さん(町内会長)の立場

古くからの住人も、今度来た新しい住人にも、皆さんにとってよいような町内会規約を作ってほしい。

主張



規約

[司会なので特にない]

理由

これまで町内会では、ゴミ収集のルールを守ってきた。これまでどおり川上さんの家の前でもよい、新しくできた建売住宅地の一角でもよい。いずれにしてもゴミ出しのルールを守らないと、今回のようなことが再び起こるので町内会規約を作るに当たって、今後、このようなことが再び起こらないように、よく検討していただきたい。

### F 太田さん(商店街の店主の一人)の立場

ゴミ収集場所は、これまでどおり川上さんの家の前でよい。ゴミ出しルールの徹底を図ることとする。

主張



規約

ゴミ収集場所は、これまでどおり川上さんの家の前とするべきであり、町内会員は期日とルールを守ってゴミを出すようにすべきである。そのため、ゴミ出しルールの確認を回覧板で回し、町内の掲示板にも掲示することとする。もし、それでもルールを守らない町内会員には、一週間、ゴミ収集場所の清掃を担当してもらうこととする。

理由

商売をしているため、町がゴミで汚れているというのは困る。毎朝、店を開ける前に掃除をしているが、ゴミが氾濫する状況は何とかしなければならぬ。川上さんのところで、これまで、あまり問題がなかったのだからこれからも川上さんの家の前がよい。ただし、今回のようなことがまた起こらないとも限らないので違反者の出ないような対策は必要と考える。

# 町内会規約を作ってみよう!

## 1 グループで決定した町内会規約とその理由

①ごみ収集場所は

とします。

②その理由は

.....

.....

.....

です。

## 2 1の町内会規約を各自で評価してみよう。

A:はい B:どちらでもない C:いいえ

ルール評価の項目	評価結果	BかCに○を付けた理由
①ルールづくりにみんなが参加し、ルールを作る過程に問題はありませんか?	A B C	
②立場が変わってもその決定は受け入れられますか?	A B C	
③そのルールはいろいろな解釈ができませんか?	A B C	
④ごみ収集場所の問題を解決するという目的を実現するために適切な手段ですか?	A B C	

## 3 授業を通して、ルールについて、どのようなことを考えましたか。

.....

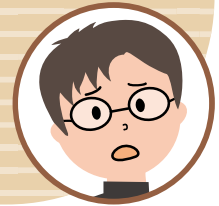
.....

.....

## 議論の論点例

1

ゴミ収集場所の近隣住民の被害は、ゴミ収集場所を変更しなければならぬほどのものかどうか。



2

ゴミ収集場所を変更する場合、場所選定にあたり、公平性を期すためには、どのような配慮が必要なのか。



3

ゴミ収集に関わるルール(ゴミ出しの期日、場所、時間、種別など)を守らない場合、罰則を科す必要があるのかどうか。



4

ゴミ収集場所への通行人の投棄、ゴミに対するカラスや猫への対策などが必要かどうか。



## 「ルールをみんなで作ってみよう」事後質問

これまで、「ルールをみんなで作ってみよう」について学習し、この学習の中で様々なことを学んできました。その上で、もう一度皆さんの考えを聞かせてください。

1 周囲の人たちと考えや意見がくい違ったら、あなたはどのような行動をとりますか。あなたがとるであろう行動に最も近いものを選んでください。

- **ア** — 自分の考えに基づいて行動する。
- **イ** — 相手の考えに合わせて行動する。
- **ウ** — お互い納得するまで話し合ってから行動する。
- **エ** — その他 ( )

2 様々な人たちがいる社会には、必ずルールがあります。あなたは、ルールは何のためにあると考えますか。自分の考えに近いものを2つ選んでください。

- **ア** — いろいろな人たちの異なる考えや意見をまとめるため。
- **イ** — いろいろな人たちが対等に生活できるようにするため。
- **ウ** — 弱い立場の人たちを守るため。
- **エ** — 犯罪を防いだり、社会の秩序を守るため。
- **オ** — その他 ( )

3 あなたが考える望ましいルールの決め方を書いてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# ②マンションの ルールを作ろう

第2プラン 1時間

## 第1時 ルールの機能と望ましいルールの要件は何か



	学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導入	身の回りのルールの存在 ルールの正当性を示す根拠(社会統制機能・紛争解決機能)	身の回りにはルールがあることを確認する。 ◆ ワークシート1-1に書く。以下の発問について、◆ ワークシート1-2に書く。  <b>ルールは何のためにあるのか。</b>  ①秩序を守らないと安全に暮らしていけないから(秩序維持機能) ②紛争を解決しなければ社会が安定しないから(紛争解決機能) といったルールの機能について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 答えられない場合は教師の方で例示する。</li> <li>• 授業時間の関係上左記内容は事前にカード等を書いておくとよい。社会統制機能といった言葉を挙げて説明する必要はない。</li> </ul>
展開		この二つの機能の実現を目指してルールは作られることを確認し、以下のような目的で作成されたルールの適否について検討する。  ①授業中は静かにする, ②部活はみんなで頑張りましょう, ③みんなで掃除をきちんとやろう。  <b>前述の目的に沿って作った以下に示すルールを受け入れることはできるか, できないか。(そう選んだ)理由は何か。</b>  教員は, (A) ~ (C)を板書する(もしくは事前にカードに書いておく)。生徒は, ◆ ワークシート1-3を書く。	

学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
<p>展開</p> <p>ルールが適正となる要件(手段の相当性・明確性・平等性・手続の公平性)</p>	<p>(A) 授業中いつもうるさく勉強ができないので、「授業開始のベルが鳴ったら50分の授業のうち40分間目を閉じる」というルールを教師が作った。</p> <p>(B) キャプテンは部員の意見をまったく聞かず、「部内の雰囲気乱した部員は、キャプテンからどんな制裁でも受けなければならない」というルールを作った。</p> <p>(C) 男子が掃除を、いつもさぼっていて、男子と女子がけんかをしているので、「掃除は男子生徒のみとする」というルールを作った。</p> <p>「受け入れられない」との答えの理由として、</p> <p>(A) 授業中、静かにするために40分間目を閉じるということは、結果として授業時間を大幅に減らすことにつながり、授業時間の確保が十分できないといった点で適切なルールとは言えない(手段の相当性の欠如)。</p> <p>(B) 雰囲気を乱すとはどういうことかはっきりしない(明確性の欠如)。キャプテンが部員の意見をまったく聞かないのは公平でない(手続の公平性の欠如)。</p> <p>(C) 女子だけが掃除をしないのは公平ではない(平等性の欠如)。</p> <p>(C) について、「受け入れられる」との答えが出される場合は、以下の発問を行う。</p> <p><b>立場を入れ替えてもルールを受け入れることができるか。</b></p> <p>(C) 男子⇔女子 の立場の入れ替えを行う。</p> <p><b>「受け入れられる」ルールにするには、どうすればよいだろうか。</b></p> <p>(A) 授業開始のベルと同時に1分程度目を閉じて、静かになってから授業を開始するなど。</p> <p>(B) みんなの意見を聞いて決める、規定の意味をはっきりさせる、キャプテンの独裁にしないなど。</p> <p>(C) 女子も平等に掃除をするなど。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左記の視点は以下のよ うな意味である。</li> <li>• 手段の相当性=目的に 対して手段が適切か。</li> <li>• 明確性=いく通りにも 解釈されることはない か。</li> <li>• 平等性=立場を替えて も受け入れられるか。</li> <li>• 手続の公平性=みんな が参加しているか。</li> <li>• 平等性が問いやすい (C) について、ここで 取り上げる。</li> </ul>

### 第3 単元の指導計画

学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
<p>まとめ</p> <p>ルールの正当性を示す根拠・ルールが適正となる要件</p>	<p>以下を ◆ ワークシート1-4に書く。</p> <p><b>どのようなルールであれば受け入れることができるだろうか。</b></p> <p>社会の秩序を維持したり、紛争を解決するルールは、その機能を果たす限りにおいて正当なルールとして我々は受け入れることができる。</p> <p>また、ルールが正しい目的のために作られていることのほか、</p> <p>(a)目的に対して、適切なものになっている。</p> <p>(b)いく通りにも解釈されないものになっている。</p> <p>(c)立場を替えても受け入れられるものになっている。</p> <p>(d)ルールを作る過程にみんなが参加している。</p> <p>限りにおいて、我々は正当なルールとして受け入れることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既出のカードを使って整理してもよい。</li> <li>左記内容が生徒から答えとして出てこなければ教師の方で説明を加える。</li> </ul>

みんなが納得するルールを考えるのは難しいね



受け入れられるルールを考えてみてね







第2時

マンションの紛争を解決するルールを作ろう

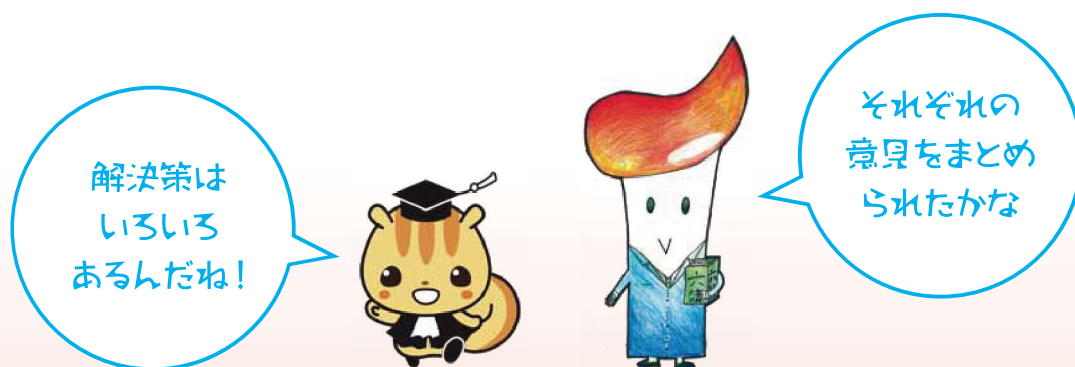


	学習内容	学習活動 (教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
導入		前時の授業内容の内、「どのようなルールであれば、受け入れることができるのか」について確認する。	
展開	日常生活における紛争	<p>本時から2時間かけて、「マンションのルールづくり」の授業を行うことを提示する。</p> <p><b>あるマンションで、ペットの飼育についての問題が生じている。まず、問題の状況を確認しよう。</b></p> <p>以下の問題状況を範読する。</p> <p><b>いちょうさん</b>は、ペットのチワワと一緒に暮らしている。マンションでは、規則でペット禁止のルールを決めているところもありますが、いちょうさんの住んでいるマンションでは、ペット飼育が禁止されていない。同じように猫や犬を飼っている世帯が何軒かある。しかし、<b>マンションに住む人たち</b>の中には、犬のほえる声がうるさいし、フンの悪臭もひどい。ペットの飼育は迷惑なので、何とかしてほしいと要望が出されている。</p> <p><b>さて、どのように問題を解決すればいいのか。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 連続した2時間で行うのが望ましい。</li> </ul>

### 第3 単元の指導計画

学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点																
展開	<p>クラスを6班に分ける。以下の「マンションの図」を示す。</p> <p style="text-align: center;">マンションの入居者一覧</p> <table border="1" data-bbox="496 483 1023 972"> <tbody> <tr> <td>4F</td> <td>住人</td> <td>チワワを飼っている「いちょう」さん〈A〉</td> <td>〈E〉さん</td> </tr> <tr> <td>3F</td> <td>住人</td> <td>〈B〉さん</td> <td>猫を飼っているがフンの処理をしない</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉</td> <td>子どものいる「もみじ」さん〈D〉</td> <td>住人</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>住人</td> <td>住人</td> <td>管理人(中立)〈F〉</td> </tr> </tbody> </table>	4F	住人	チワワを飼っている「いちょう」さん〈A〉	〈E〉さん	3F	住人	〈B〉さん	猫を飼っているがフンの処理をしない	2F	朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	子どものいる「もみじ」さん〈D〉	住人	1F	住人	住人	管理人(中立)〈F〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前に「マンションの図」をクラス全員に見えるように模造紙等で作成しておくといよい。</li> </ul> <p> 資料1</p>
	4F	住人	チワワを飼っている「いちょう」さん〈A〉	〈E〉さん														
3F	住人	〈B〉さん	猫を飼っているがフンの処理をしない															
2F	朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	子どものいる「もみじ」さん〈D〉	住人															
1F	住人	住人	管理人(中立)〈F〉															
<p><b>ペットの飼育について、それぞれの立場を確認しよう。</b></p> <p>A～Fの立場に班分けを行い、自分たちの状況(事実)、事実に基づく主張(自分の希望する状況)、主張の理由(それを希望する理由)について、各班ごとに話し合い、 ワークシート2-1に記入する。生徒から予想される回答は以下のとおり。</p> <p>A 事実：チワワと一緒に楽しく遊んでいる。 主張：ペットの飼育を認めてほしい。 理由：チワワを生きがいにしている、生活に欠かせない。</p> <p>B 事実：猫のフンがくさい。 主張：猫の飼育を禁止してほしい。 理由：フンの臭いがしない環境にしてほしい。</p> <p>C 事実：犬のフンの処理はしっかりしているが、朝、犬がほえる。 主張：犬の飼育を禁止しないでほしい。 理由：迷惑をかけているのは分かるが、仮に飼育を禁止しても、今飼っている犬を捨てるわけにはいかない。しつけをきちんとするように頑張る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 机間指導を行い、適宜アドバイスをするとともに、時間をしっかりととり、想定される事実を整理して記入させる。</li> </ul>																	

	学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
展開		<p>D 事実：Cの家の犬はうるさい。 主張：犬の飼育を禁止してほしい。 理由：朝、犬がほえるとうるさい。子どもが怖がっている。</p> <p>E 事実：チワワの鳴き声がうるさい。 主張：ペットの飼育を禁止してほしい。 理由：安眠妨害である。</p> <p>なお、Fは中立的な立場で答えを考え、第3時は司会の役割を担う。 各班がワークシートの内容(事実・主張・理由)を発表する。生徒は、各班が発表した内容を ◆ ワークシート2-2 にメモする。ワークシートにメモした内容を踏まえて、各班に対して質問をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 左記A～Eに示すような意見が出ない場合は教師の方で意見を例示する。</li> </ul>
まとめ	<p>紛争解決のためのルールづくり</p>	<p><b>それぞれの班で、解決策を作成してみよう。</b></p> <p>それぞれの立場に立った解決策(ルール)について各班で議論する。 ◆ ワークシート2-3 に記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 罰則を設けることのみに着目させない。解決策(ルール)はいく通りもあることを意識付けるようにする。</li> </ul>



第3時 **ルールについて評価し討論しよう**



学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
<p>導入・展開</p> <p>解決策を考えるための視点</p> <p>①手段の相当性</p> <p>②明確性</p> <p>③平等性</p> <p>④手続の公平性</p>	<p>第2時に作成した解決策(ルール)について評価を行う。</p> <p><b>今日は、A～Eの班が作成した解決策について、まず自分で評価してみよう。</b></p> <p>その後、A～Eの立場をばらしたグループを編成し、<b>考える視点シート</b>に沿って解決策(ルール)を検討させる。その間にFの生徒は司会の役割を担うので、教師は、Fの生徒に対して、<b>司会進行シート</b>に沿って、グループ内の討論の進め方について指示する。</p> <p><b>それでは、グループで、それぞれの立場が作成した解決策について確認し、どのような解決策が望ましいか議論してみよう。</b></p> <p>それぞれの立場の解決策を <b>ワークシート3-1</b>に記入する。Fの生徒は、<b>司会進行シート</b>に沿って司会・討論を進める。それぞれの立場の解決策(ルール)及びその理由を発表し合い、また、その主張に対して質問を受ける。</p> <p>その後、グループとしての解決策をまとめて <b>ワークシート3-2</b>に記入する。</p> <p>なお、解決策(ルール)を議論する際の論点は以下のとおり。</p> <p>①ペットの鳴き声は、住民の受忍限度(犬のほえる声の大きさ、時間帯を考慮)を超えるものなのかどうか。</p> <p>②ペットのフンの悪臭は、住民の受忍限度を超えるものなのかどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Fへの指示終了後、机間指導を行い、適宜アドバイスする。</li> <li>• Fの進行に対して適宜アドバイスを行う。「考える視点シート」の項目については、第1時の展開「指導上の留意点」を参照。</li> <li>• 左記論点が生徒から出されない場合は、教師が例示する。</li> </ul>

	学習内容	学習活動(教師の指示・発問と生徒の予想される答え)	指導上の留意点
展開		<p>③ペット禁止をルール化するとして、以前から飼っていたペットをどうするのか。</p> <p>④飼育を認めるとして、ペットの種類を制限するかどうか。</p> <p>⑤飼育を認めるとして、フンの処理を飼主がしなくてよいのか。</p> <p>⑥ペットの飼育を認めるとして、ペットに関わる費用負担(消臭剤・しつけにかかる費用等)を誰が負担するのか。</p> <p>生徒からの予想される解決策(ルール)は以下のとおり。</p> <p>A ペットの飼育を認める。ただし、消臭剤等の費用はペットの飼主が負担する。また、飼主はペットのしつけを徹底する。</p> <p>B ペットの飼育を原則禁止にする。ただし、希望する人に対して申請書を出させ、その都度、自治会で審議する。以前から飼っていたペットは特別に許可する(しつけは徹底する)。</p> <p>などが考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不合理な回答(例えば「ペットを飼っている住人にマンションから出て行ってもらおう」「迷惑している人たちが、マンションから出て行く」等)は教師の方から、理由を明示し避ける。</li> </ul>
まとめ	<p>ルールが適正となる要件</p>	<p><b>それでは、各グループの解決策を発表してみよう。</b></p> <p>各グループの決定した解決策を発表させる。</p> <p><b>それぞれのグループの解決策を評価してみよう。</b></p> <p>第1時の、ルールが適正となる要件について確認しながら、<b>◆ ワークシート4</b>に記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 評価する理由をしっかりと書くよう机間指導する。「理由の適切性」も大事なポイントなので、生徒が考えるには難しいようなら教師の方で回答する。「マンションの問題を解決するという目的を實現するために適切な手段ですか」→個人の自由を、必要以上に制限していないか等について考えさせる。</li> </ul>

## 身の回りにおけるルールについて考えてみよう!

1 自分の身の回りにおけるルールを、いくつか書いてみよう。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

2 ルールは、何のためにあると思いますか。自分の考えを書いてみよう。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

## 身の回りにおけるルールについて考えてみよう!

**3** 提示された(A)・(B)・(C)のルールを、あなたは受け入れることができますか。その理由も書いてください。受け入れられない場合、受け入れられるルールに変えるにはどのようにすればよいですか。改正案を書いてください。

		理 由	改 正 案
(A)	受け入れられる	.....	.....
	受け入れられない	.....	.....
(B)	受け入れられる	.....	.....
	受け入れられない	.....	.....
(C)	受け入れられる	.....	.....
	受け入れられない	.....	.....

**4** 私たちは、どのようなルールであれば、受け入れることができるのでしょうか。

.....

.....

.....

.....

# マンションの問題を解決しよう!

**いちょうさん**は、ペットのチワワと一緒に暮らしています。マンションでは、規則でペット禁止のルールを決めているところもありますが、いちょうさんの住んでいるマンションでは、ペット飼育が禁止されていません。同じように猫や犬を飼っている世帯が何軒かあります。しかし、**マンションに住む人たち**の中には、犬のほえる声がうるさいし、フンの悪臭もひどい。ペットの飼育は迷惑なので、何とかしてほしいと要望が出されています。

**さて、どのように問題を解決すればいいのでしょうか。**

## マンションの入居者一覧

階	住人	ペット	主張
4F	住人 夫婦 二人暮らし	チワワを飼っている「いちょうさん」〈A〉	主張:ペットの飼育を認めてほしい。
	住人 夫婦 二人暮らし	チワワを飼っている「いちょうさん」〈A〉	主張:ペットの飼育を禁止してほしい。
	住人 夫婦 二人暮らし	チワワを飼っている「いちょうさん」〈A〉	主張:ペットの飼育を禁止してほしい。
3F	住人 社会人 一人暮らし	猫を飼っているがフンの処理をしない	主張:猫の飼育を禁止してほしい。
	住人 社会人 一人暮らし	猫を飼っているがフンの処理をしない	主張:猫の飼育を禁止してほしい。
	住人 社会人 一人暮らし	猫を飼っているがフンの処理をしない	主張:猫の飼育を禁止してほしい。
2F	住人 朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	主張:犬の飼育を禁止しないでほしい。
	住人 朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	主張:犬の飼育を禁止してほしい。
	住人 朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	朝ほえる犬を飼っている「かえで」さん〈C〉	主張:犬の飼育を禁止してほしい。
1F	住人 老夫婦 二人暮らし	子どもがいる「もみじ」さん〈D〉	主張:犬の飼育を禁止してほしい。
	住人 老夫婦 二人暮らし	子どもがいる「もみじ」さん〈D〉	主張:犬の飼育を禁止してほしい。
	住人 老夫婦 二人暮らし	子どもがいる「もみじ」さん〈D〉	主張:犬の飼育を禁止してほしい。
	住人 大学生 一人暮らし	管理人(中立)〈F〉	



## マンションの問題を解決しよう!

1 資料を読み、マンションの問題状況について班で話し合い、自分の立場(班)について考えてみよう。

### (1) 自分の立場(班)

-----  
-----  
-----  
-----



### (2) 事実(自分たちの部屋の様子)

-----  
-----  
-----

### (3) 事実に基づく主張(自分の希望する状況)

-----  
-----  
-----

### (4) そう主張する理由(それを希望する理由)

-----  
-----  
-----

3年( )組( )番 氏名

## マンションの問題を解決しよう!

2 各班から出てきた主張について整理してみよう。

班	事 実	主 張	理 由
自分の班			

3 自分たちの班で議論して出てきた解決策(ルール)を書いてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

## 考える視点シート

2時間目に考えた解決策(ルール)を、  
次の視点から再検討してみよう!



- ① その解決策で不利益を受けるのは誰か。
- ② その解決策では、どのような不利益を受けるのか。

③ その解決策で利益を受けるのは誰か。

④ その解決策で、どのような利益を受けるのか。

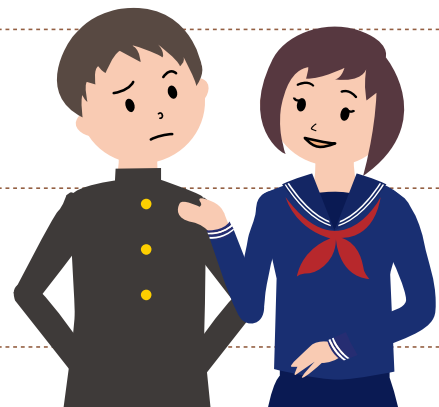
⑤ その解決策は、どのような目的の達成を目指しているのか。

⑥ その目的を達成するために、もう少し不利益の少ない方法はないのか。

⑦ その解決策は、ルールとして明確か。

⑧ 解決策(ルール)を作る過程に問題はないか。

⑨ 解決策(ルール)は、みんなに平等であるか。



## 司会進行シート (管理人班専用シート)

### 1 司会班の自己紹介

①司会担当の ( )  
です。



### 2 解決策の発表

(1) それぞれの立場の「望ましい」解決策を  
発表してもらいます。その際、次の2点を  
はっきりさせて発表してください。

- **A** —— 解決策を明確に発表する。
- **B** —— 解決策の根拠としての理由を  
明確に発表する。



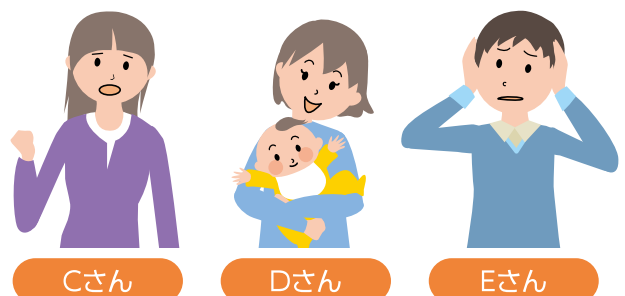
(2) では、次の順番で発表してください  
(対立する主張のある人を順番に)。

- ① —— Aさんの立場
- ② —— Bさんの立場
- ③ —— Cさんの立場
- ④ —— Dさんの立場
- ⑤ —— Eさんの立場



Aさん

Bさん



Cさん

Dさん

Eさん

## 司会進行シート (管理人班専用シート)

### 3 質疑・応答

それでは、Aさん、Bさん、Cさん、Dさん、Eさんの立場から、それぞれ質問や疑問はありませんか。

特にならなければ、〇〇さんはいませんか、と、それぞれを指名する。



### 4 解決策の検討

(1) それでは、グループ全体で話し合いたいと思います。自分の考えのある人はいますか。

特にならなければ、まず、〇〇さんの主張を支持する人はどうですか。逆に、△△さんの主張を支持する人はどうですか。と各人をそれぞれ指名する。



(2) 最後に、「望ましい」解決策（ルール）を決定したいと思います。〇〇さんの解決策に賛成の人は挙手してください。△△さんの解決策に賛成の人は挙手してください。(以下、いくつかある場合には続く。) 賛成多数のため、??さんの解決策に決定します。

十分、審議を尽くし、簡単に多数決による決定に持ち込まないように配慮する。

3年( )組( )番 氏名

## マンションの問題を解決しよう!

1 自分の立場と他の立場が作った解決策（ルール）を「考える視点シート」に沿って、グループで話し合い、検討してみよう。そして、その理由を書いてみよう。

班	解 決 策	理 由
自分の立場	..... ..... .....	..... ..... .....
	..... ..... .....	..... ..... .....
	..... ..... .....	..... ..... .....
	..... ..... .....	..... ..... .....
	..... ..... .....	..... ..... .....
	..... ..... .....	..... ..... .....

2 グループでまとめた解決策（ルール）を書いてみよう。

.....

.....

.....

# マンションの問題を解決しよう!

## 1 解決策（ルール）について評価してみよう。

A:はい B:どちらでもない C:いいえ

	ルール評価の項目	評価結果	BかCに○を付けた理由
1	誰が読んでも同じように読み取ることができる。	A B C	
2	解決策を決定する過程でみんなが参加している。	A B C	
3	自分の置かれている立場が代わっても、受け入れることができる。	A B C	
4	マンション問題を解決するという目的を実現するのに適切な手段である。	A B C	

## 2 1で評価した解決策（ルール）をあなたは受け入れられますか。その理由も書いてください。

.....

.....

.....

.....

.....

## マンションの問題を解決しよう!

- 3 1で評価した解決策（ルール）をあなたは守りますか。その理由も書いてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- 4 新しい入居者が入ってくるなど、このルールが適用できないような新たな問題が発生したらどうしますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....